

学力向上に向けた取組

1 課題

- 個に応じた指導による、基礎・基本の明確化とその確実な定着
- 言語環境を整え、言語活動を充実
- 算数科における筋道を立てた考え方とその説明

2 課題解決の具体策

- (1) 校内研修による取組
- (2) 読書活動の推進
- (3) 算数科における個に応じた指導の充実

3 取組の概要

◎校内研修について

- ①校内研修での取組「意欲を高める言語活動」
～読書活動や外国語活動における言語活動を通して～

○ブロック別研修

《低学年》本を読む楽しさを味わわせる授業づくりをすることにより、子ども達の読書活動が広がり、自らすすんで読書に親しむ子どもが育つであろう。

- ・言語活動分野の基礎・基本をしっかりと身に付けさせる。
- ・読書に興味や関心を持たせる学習方法の工夫
- ・読書が「楽しい」「読みたい」と思う環境づくり

《中学年》多様な読書活動を取り入れた授業づくりをすることにより、子ども達の読書の幅が広がり、意欲的に読書をする子どもを育てることができるであろう。

- ・「読書クイズ」を作り、発表する力を身に付けさせる。
- ・「感想カード」の活用により、友達の良さを見つけたり、全体に広げる能力を養う。
- ・多様な見方や感じ方があることに気付かせ、読書の幅を広げる。

《高学年》外国語を通して言語や文化を体験的に学ぶことによって、外国語で意欲的にコミュニケーションを図ろうとする子どもを育てることができるであろう。

②個に応じた指導の充実

- 校内研修とのリンク「思考力・判断力・表現力の育成を目指す言語活動」
- TTの活用（1・4～6年生算数）
- コース別選択学習の継続
- 長期休業中等の補充的学習サポートの実施（高学年）

◎読書活動について

学校図書館の日常的な開放や図書館ボランティアの活動、地域の高等教育機関内の図書館との連携により、読書活動を充実させ、読書意欲の向上、読書習慣の形成ができる。

- ・朝の読書活動（隔週で1年間）
- ・読み聞かせ（全学年実施）
- ・図書館まつり
- ・学校図書館アドバイザー、学校図書館ボランティア

4 成果と課題

○学校図書館の充実により、児童の読書意欲の向上を図ることができ、読書習慣の形成や、読書の幅を広げることができた。

○TTの活用やコース別選択学習、補充的学習サポートにより、個に応じた指導ができたことで、学習意欲の高まりや基礎・基本の定着が多く見られるようになった。

●学校における授業の充実以外で、家庭学習の方法など家庭への啓発活動にやや不十分さがあつたので、今後さらなる必要性を感じている。